



平成26年度 事業報告

自主「名護岳家族の日」(4/19～20、4/26～27、5/5～5/6)

自主事業「名護岳家族の日」を3期に分けて開催しました。「名護岳家族の日」はこれまで県立名護青少年の家を利用する機会が少なかった方々の利用促進を目的に開催されました。3期の開催で14グループ48人の方々が参加されました。本事業は野外炊飯のメニューを選択出来たり、ナイトハイキングが『オプション』で追加できるなど、自由度の高いキャンプとなりました。

親子で協力してテント設営を行いました。子ども達の真剣なまなざし、その視線の先には、お父さん、お母さんの姿がありました。翌朝「よく眠れた」という子もいれば「慣れていなくてよく眠れませんでした。」というお父さんもいました。



親子で協力してテント設営



姉妹で協力してピザの生地をつくる様子

夕食は「石窯ピザ」や「豚肉とキャベツの重ね煮」、「カレーライス」の3つのメニューから参加者が選択し、協力して調理に励んでいました。中でも石窯ピザは大変好評で「生地作りからピザ焼きの体験までできてよかった。」と感想を頂きました。

【担当者・神谷主任専門職員より】

今回の家族の日は自由に活動や自然散策を行う時間、野外炊飯メニューの選択制を設けて従来より自由度の高い内容で開催しました。参加者からは「時間に追われることなくゆっくりキャンプを楽しめました」などの声をいただき、参加者の満足度の高い事業を展開できてとてもうれしく思います。今年度は他にもいろいろな事業を企画していますので、たくさんの参加者をお待ちしております。



事業に参加していただいた皆さん

- 県立名護青少年の家では、もっと自由に楽しくご家族やグループで利用していただく機会を増やしたいと考え、「名護岳家族の日」というキャンプイベントを企画しました。
- 1回につき5団体、20名程度ずつのイベントとして、計3回を募集したところ、募集期間の初日から多数の申し込みのお電話を頂き、午前中で定員に達することができました。
- このキャンプイベントの特徴は、家族の自由時間をしっかり確保しつつも家族同士の交流も日程に組み込んで、参加者同士のふれあう機会を設けている点です。
- 食事についても「石釜ピザ」や「豚肉とキャベツの重ね煮」、「カレーライス」の3種類から選択することができるようにし、またオプションでナイトハイキングへの参加など、参加者自身でキャンプの内容を自由に組み立てることができるようにしました。
- 4月19日から20日に行われた第一回目のキャンプに、浦添市から参加のゆうきくんは「松ぼっくり、ちょうちょ、おはな、ちっちゃいバツタ、いろいろ見つけました」と、宝探しに大満足。家族のいい思い出になったようです。
- 夕方からの野外炊飯でカレーライスを作ったつるたさんご一家は、「野外で食べるっておいしいね」と、みんな笑顔の名護岳家族の日でした。
- 【担当者・神谷主任専門職員より】今回の家族の日は自由に活動や自然散策を行う時間、野外炊飯メニューの選択制を設けて従来より自由度の高い内容で開催しました。参加者からは「時間に追われることなくゆっくりキャンプを楽しめました」などの声をいただき、参加者の満足度の高い事業を展開できてとてもうれしく思います。今年度は他にもいろいろな事業を企画していますので、たくさんの参加者をお待ちしております。
-